

## 事務事業マネージメントシート

作成日 平成25年05月14日

## 1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動）			⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
24年度実績 管理指導員の委嘱及び謝金の支払 団体登録の受付事務及び使用申請・許可事務 使用料徴収事務			名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
			ア 管理指導員数	人	28	28	28	28	28
			イ 利用施設数	箇所	52	52	52	55	55
			ウ 年間利用日数（延べ日数）	日	12094	11674	10564	10869	10977
25年度計画 前年度に同様			エ 利用団体数	団体			101	119	121
			オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）＊人や自然資源等			⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
小学校のスポーツクラブ 利用希望団体 学校体育施設数			名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
			ア 少年スポーツクラブ数	団体	42	45	47	45	45
			イ 利用団体数	団体			101	119	121
			ウ 学校体育施設数	箇所	55	55	55	55	55
			エ						
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか）			⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
スポーツ・レクリエーション活動の場として、施設を効率的に貸出し、有効活用を図る。			名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
			ア 有効活用された学校体育施設数	箇所	52	52	52	55	55
			イ 利用者数	人	221139	189352	206422	219137	220423
			ウ 利用日数	日	12094	11674	10564	10869	10977
			エ						
④結果（どんな結果（上位施策）に結びつけるのか）			⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
利用希望団体がスポーツ・レクリエーション活動を行えるようにする。 「市民ひとり1スポーツ」の振興。			名称	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
			ア スポーツレクリエーションをしている市民の割合	%	55.4	54.8	49.6	50.5	53.0
			イ						
			ウ						
			エ						
			オ						
(2) 総事業費の推移			単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	891	725	864	732	0	
		一般財源	千円	5,577	5,199	4,606	4,763	0	
	事業費計(A)	千円	6,468	5,924	5,470	5,495	0		
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	3	3	0		
	延べ業務時間	時間	144	144	118	123	0		
	人件費計(B)	千円	584	615	501	517	0		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	7,052	6,539	5,971	6,012	0		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？			学校体育施設を有効に活用し、社会体育施設としてスポーツ・レクリエーションの場とするため。						
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？			当初は、無料で開放していたが、昭和63年度から使用料を徴収している。 平成18年度から小学校運動部活動の社会体育への移行に伴い、それらの団体の学校体育施設の使用についても学校体育施設開放事業として取り扱っている。						
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？			貸出時間の延長						

## 2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか? ・意図することが結果（上位施策）に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 「市民ひとり1スポーツ」を目標にしたスポーツ・レクリエーションの振興を図る政策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか? ・税金を投入して達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある スポーツ・レクリエーション活動の場として、公共施設の有効活用を図るために妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか? ・意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 学校体育施設の有効活用のため適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか? ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか? ・何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 利用希望により学校体育施設を開放しているので、向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない スポーツ・レクリエーション活動を行う団体に、施設を提供出来なくなる。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか?	<input type="checkbox"/> 類似事業がある（類似の事務事業名を記載） <input type="checkbox"/> 類似事業はない 類似事業はない。
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか?	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 管理指導員への謝金であり、必要最低限の経費である。
	⑧人件費（延べ業務時間）の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? ・成果を下げずにより正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 必要最少限の経費である。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? ・受益者負担が公正・公平になっているか?	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 利用団体からは、使用料を徴収している。

## 3. 改革・改善方向の部

### (1) 改革の方向性（改革案・実行計画）

廃止  見直し（：目的妥当性 ：有効性 ：効率性 ：公平性）  統合  継続

### (3) 改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

### (2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？

## 4. 事務事業の2次評価結果（事業の総括と事業の方向性）

### (1) 1次評価結果の客觀性と出来具合 記述説明不足（説明責任不充分） 評価内容が客觀性を欠く 評価内容は客觀的と言える

### (2) 2次評価者としての評価結果

①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

### (5) 改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

### (3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性

廃止  休止  目的絞込み  目的拡充  
 事業統廃合  事業のやり方改善  
 予算削減  予算増大  
 現状維持（從来通りで特に改革改善をしない）

### (4) その他2次評議会議で指摘された事項